



雪崩パトロールを実施しています

○雪崩パトロール(目視及びドローンによる確認)

湯沢維持・雪害対策出張所管内は積雪が多く、降雪期に斜面の積雪や雪び^{せっぴ}(※)の状況を調査・監視する雪崩パトロールを毎日実施し、雪崩対策の検討や雪び処理箇所の選定を行っています。

雪崩パトロールでは、道路上からの目視やドローンの活用により雪びの大きさや斜面積雪の状態を確認し、擁壁やトンネル抗口などの雪びが大きければ、落下する前に人力で処理し、交通の安全を確保します。斜面積雪における亀裂の拡大や移動が確認されれば、雪崩への注意喚起を行い、もし雪崩の危険性が高いと判断した場合は、国道の通行止めを行うこともあります。

これからの時期は気温も上がり、より交通に多大な影響を与える雪崩への対策が重要となってきます。今後も安全で安心な道路交通を確保するため、雪崩危険箇所の監視と雪崩に対する備えをしっかりと取り組んで参ります。

(※)「雪び」とは、積雪が風下にひさしのように張り出したもの。



【斜面の積雪状況】



【ドローンによる確認の様子】



【雪び処理前の斜面】



【雪び処理後の斜面】



【人力処理の様子】

○雪崩パトロール(ヘリコプターによる確認)

雪崩パトロールは道路上から毎日実施していますが、山の尾根や高い斜面は積雪状況を確認しづらい箇所になります。そこで専門家の方々と共にヘリコプターを使い、上空から斜面の状況や雪崩の前兆現象についても確認しています。

2月17日(金)、南魚沼市と湯沢町の国道17号沿線についてヘリコプターによる雪崩パトロールを行いました。パトロールの結果、交通に支障が出るような雪崩の兆候は確認されませんでした。



【ヘリコプターによる確認の様子】



【堀切地区斜面の様子】

長岡国道事務所では道路状況をホームページで発表しています。近年はTwitterも使い、よりタイムリーな情報発信が可能となりました。今後もより安全な交通を確保するため道路状況について積極的に発信してまいります。

【湯沢維持・雪害対策出張所】

編集・発行・お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所 計画課

TEL:0258-36-4551(代表) FAX:0258-33-7566

ふるさとの めくもり伝える 道づくり

国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所

〒940-8512 新潟県長岡市中沢4丁目430-1

パソコン、スマートフォン
携帯電話
Twitter

<https://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/>
<https://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/i/>
https://twitter.com/mlit_chokoku

携帯版



スマホ版



Twitter



国土交通省北陸地方整備局